



少しずつ秋らしくなってきましたが皆さんいかがお過ごしでしょうか。

7月から小児病棟のボランティアを再開しましたが、猛暑の中、多くの看護学生さんに参加していただきました。保護者の方からは面会に来られない時間に遊んでもらって安心した等の感謝のお言葉をいただき、小児病棟スタッフからは泣いている子どもが少なくなったという声が聞かれています。また子どもたちからは今日はボランティアさん来るの？と待っている様子も見受けられます。学生ボランティアの皆さん本当にありがとうございます。



◇看護部のご紹介

当院の成育母子医療センターは、産科病棟・NICU/GCU・小児病棟・産婦人科外来・新生児内科外来で構成されています。そのなかで産科病棟はハイリスクの妊婦、胎児異常などの母体搬送に24時間体制で対応し入院管理を行っています。助産師は専門性が高く、母性看護専門看護師・アドバンス助産師・小児周産期リエゾン等、様々な資格を有した助産師38名が配置されています。(令和6年10月1日現在)

産科病棟では、助産師教育課程を目指している・助産師教育課程で学んでいる学生さんを対象とした学生ボランティアを募集しています。詳細はホームページをご覧ください。



5Fフロアの成育母子医療センターにある産科病棟で母性看護専門看護師として働いています。周産期メンタルヘルスや虐待、母体救命を中心に、女性とその家族の生涯に寄り添えるよう努めています。また、院内の横断的活動だけでなく、埼玉県の周産期医療の向上のため、教育機関や助産師会等での講演もしております。今後も楽しく子育てができるサポートができたらと考えております。母性看護専門看護師 小田郁代



看護職員がいきいきと働き続けられるように「看護部働き方改革つむぎプロジェクト」が活動しています

◇つむぎプロジェクトより

学生アルバイトの皆さん、アンケートのご協力ありがとうございました。アルバイトをしてよかったこととして「患者のケアを実際に経験できた」「患者との関りが楽しかった」「臨床の現場を見ることができた」「病棟の雰囲気かわかった」などの意見が多くありました。また、「就職先を検討するうえで参考になった」という、今後の就職活動に向けた意見も多数ありました。実際に働いて困った点として、「何をやればいいのかわからなかった」という意見もあり、夜間帯は看護配置の人数が限られて、忙しい時間帯であることを考慮して、事前のオリエンテーション内容や、可能であれば日勤帯で業務を説明できる支援体制などを検討していきたいと思っております。

★小児病棟では夜間の看護補助学生パートタイムを募集しています★

<問い合わせ>

さいたま市緑区大字三室2460番地 さいたま市立病院総務課職員係

TEL:048-873-4217

E-mail: hsp-jimukyoku-somu@city.saitama.lg.jp



学生アルバイト・学生ボランティア担当: 安西

連絡先: E-mail hsp-kango-kanrishitsu@city.saitama.lg.jp